

日野宿発見隊 通信

第二十一号

発行/日野宿発見隊(日野図書館内) Tel.042・584・0467

スタンプラリー in 日野宿 2023 (第107弾)

令和5(2023)年5月13日(土)「スタンプラリー in 日野宿 2023」(第107弾)を開催しました。

予報どおりのあいにくの空模様でしたが、277人の方に参加していただきました。(277はスタンプ帳頒布数)

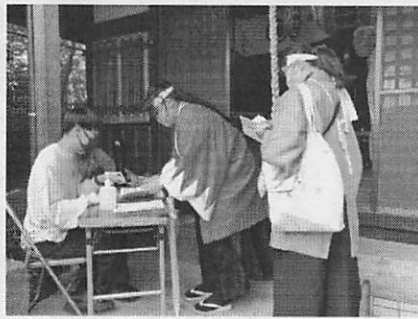
コロナ禍から抜け出し、ようやくかつての日常に近づく一歩を踏み出したところでしたので、家族連れのお姿がいつもより少なかったのが少し残念でしたが、それでも毎回楽しみに参加してください皆さんの姿をおみかけし思わず微笑まずにはいられませんでした。足元の悪いなか参加して下さった皆さん本当にお疲れさまでした。

日野宿本陣ポイントでは、10か所以上のポイントを回っていただいた方に、大型スタンプの柄をあしらった20種類の缶バッジのなかからひとつを景品として、また先着順で、佐藤彦五郎

新選組資料館、井上源三郎資料館、松盛堂、旧猪鼻輪業から提供していただいた特典景品をお渡ししました。



日野駅受付



坂下地藏尊前

なお、イベント開催にあたり、昨年からは個人ボランティアをはじめ、中学生、高校生、大学生、自治会、老人会、企業など多くの皆様のご協力をいただいています。今年は約180人もの方々に支えられたスタンプラリーとなりました。まさしく地元ぐるみで作りに上げるおもてなしイベントとなってきました。参加者の皆様との会話も楽しみですが、各ポイントにおけるスタンプの世代間の交流も深まったようで本当にうれしい限りです。開催にあたりご支援ご協力いただいた多くの皆さんに心より御礼申し上げます。

「まち活 2023」で

日野宿発見隊をPR!

同年6月3日(土)に開催された「まち活 2023」で、日野宿発見隊の活動を紹介しました。

NPO 法人ひの市民活動ネットワーク/日野市ボランティア・センターの共催である「まち活」は、日野市内の市民活動団体が活動を紹介し、新しい仲間を募ることに、市民活動をより活性化させることを目的としたイベントです。今年はいオンモール多摩平の森(3Fイオンホール)で行われました。

会場では発見隊らしく「まちかど写真館 in ひの」から代表的な写真のほか、これまでの刊行物も展示し、実際に手に取っていただきました。また、「スタンプラリー in 日野宿」で使用している巨大スタンプ(日野駅開業130年)も特別に用意し、ポストカードに自由に押印してもらいました。



来る5月11日(土)、

「スタンプラリー in

日野宿 2024」開催予定



同年7月2日(日)日野宿発見隊初代事務局長 渡邊生子さんが第二の人生を過ごされていた宮

城県で急逝されました。享年72歳。

渡邊さんは平成18年6月、地域の皆さんと日野宿発見隊を立ち上げました。そこには、図書館のカウンターで利用者をつただけでなく、積極的に地域に飛び出し、今、図書館が何を求められているのかを知ろうとする、日々の努力が大切だとの思いが強く込められていました。

それからの7年間、皆さんからいただいたアイデアをもとに地域の皆さんといっしょに、「こども日野宿発見隊」を皮切りに、「まちかど写真館inひの」、「日野駅開業120周年事業」、絵本「ひのつ子日野宿発見」の刊行など、まるでマジックを見せられているような、実に活気に満ちた取り組みを展開させてくれました。

いつも笑顔で誰にでも公平に接する渡邊さんは地域の皆さんから慕われ日野宿発見隊の顔そのものでした。心よりご冥福をお祈りいたします。

第19回子ども発見隊「夏休み！親子で調べよう日野用水」

(第108弾)

同年7月22日(土)新東光寺地区センター前の用水で「夏休み！親子で調べよう日野用水」を開催しました。このところの猛暑で開催が危ぶまれましたが、朝からわずかに雲もかき、また用水も前日の降雨により水嵩もあがり用水観察にはほどよい状態での開催となり何よりでした。

参加者は子ども17名、大人13名とスタッフ9名(事務局2名)の計39名。今回はいつもより高学年の子の参加が目立ちました。



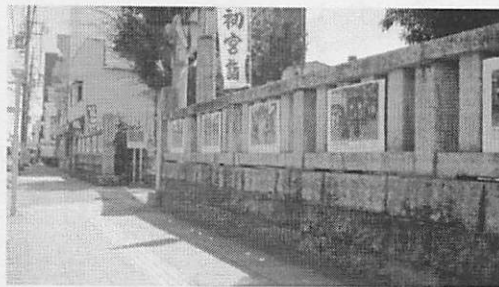
コロナの影響でなかなか自由な行動が取りにくい子どもたちにとつて、歴史ある日野用水で過ごしたこの日の体験が楽しい思い出となってくれたら幸いです。

第16回八坂の祭り写真展

(第109弾)

新型コロナウイルス感染症の第5類感染症移行により、ようやく以前のような日常が戻りつつあるなか、いつもとは少々異なる形での宮神輿の渡御が執り行われました。

日野宿発見隊では今回も恒例の八坂の祭り写真展を9月1日(金)〜9月30日(土)の期間開催し、83点の写真を展示しました。



八坂神社の玉垣

子ども発見隊「行灯をつくらう」

(第110弾)

同年12月16日(土)の午後、第20回子ども発見隊「行灯をつくらう」を開催しました。参加者は子ども4名+幼児1名と保護者4名でした。



普門寺本堂前

日野宿発見隊のYさん製作の行灯を(お手本)参考に、①2枚の半紙におもいおもいの絵を描く。②あらかじめ用意された木枠に、お母さんといっしょに糊を使って貼り付ける。③残り2面にスタンプラリーでお馴染みの大型スタンプを押した半紙を貼って完成。この貼り付けが行灯製作が一番むずかしいところなのですが、お母さんとのチームワークよろしく全員無事クリアー。

この後、できあがった行灯を普門寺まで運び、ご住職のご厚意で扉を開けていただいた本堂前に飾らせてもらいました。ご本尊の大日如来様を照らす荘厳な灯りを背景に、四つの行灯の仄かな灯りがまた素敵な雰囲気を出していました。